

JSME 発電用原子力設備規格 維持規格 (2012 年版(2014 年追補までを含む)) (JSME S NA-1-2012/2013/2014) 正誤表

2016 年 2 月

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考
1	A-4	A-5100	設計・建設規格 : 日本機械学会 発電用原子力設備_規格設計・建設規格 (JSME S NC1)	設計・建設規格 : 日本機械学会 発電用原子力設備規格_設計・建設規格 (JSME S NC1)	2012 年版以降
2	IA-2	IA-2110	(2) 供用期間中に機器を EB-1130, <u>EC-1120</u> , <u>ED-1120</u> , EE-1120, EF-1120, EG-1120 および EJG-1130 に従い補修または取替を行った場合, …	(2) 供用期間中に機器を EB-1130, <u>EC-1500</u> , <u>ED-1500</u> , EE-1120, EF-1120, EG-1120 および EJG-1130 に従い補修または取替を行った場合, …	2013 年追補以降

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考																																																																																																																								
3	IB-4	表 IB-2500-2	<p>表 IB-2500-2 試験カテゴリと試験部位および試験方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">試験カテゴリ B-B 容器の耐圧部分の溶接継手</th> </tr> <tr> <th>項目番号</th> <th>試験部位</th> <th>図番</th> <th>試験方法</th> <th>試験の範囲および程度^⑤</th> <th>延期*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B2.111</td> <td>原子炉圧力容器または原子炉容器 胴の周継手</td> <td>図 IB-2500-2,3</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.112</td> <td>胴の長手継手</td> <td>図 IB-2500-4</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.121</td> <td>鏡板の周継手</td> <td>図 IB-2500-5,6</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.122</td> <td>鏡板の長手継手 (子午線方向を含む)</td> <td>図 IB-2500-5</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.11</td> <td>加圧器 胴と鏡板との周継手</td> <td>図 IB-2500-2,3</td> <td>体積</td> <td>両側の溶接継手^②</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B2.12</td> <td>胴の長手継手</td> <td>図 IB-2500-4</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^{①②}</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B2.13</td> <td>胴と胴との周継手</td> <td>図 IB-2500-2,3</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B2.40</td> <td>蒸気発生器（一次側） 管板と鏡板との溶接継手</td> <td>図 IB-2500-10</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^{④⑤}</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：検査間隔内の延期</p> <p>注： (1) 試験に選ぶ溶接継手は、周継手と交差する胴の長手継手とする。 (2) 各検査間隔中の試験程度は、各溶接継手長さの7.5%とする。ただし、周継手について5%、長手継手について10%としてもよい。 なお、特定の溶接継手に対する試験程度の一部または全部を実施せず、その代替として他の溶接継手に対する試験程度に加えて試験を実施することが妥当と判断される場合は、各溶接継手長さに対する割合でなく全溶接継手長さに対する割合としてもよい。 ただし、代替とした理由および代替として実施する試験程度の妥当性として、材質、応力条件（溶接残留応力を含む）および環境条件（温度、炉水環境）が工学的に同等であることを確認し、記録しておかなければならない。（解説表 IB-2500-1,2,8） (3) 各検査間隔中の試験程度は、各溶接継手長さの7.5%とする。ただし、周継手について5%、長手継手について10%としてもよい。 (4) 各検査間隔中の試験程度は、一つの容器の溶接継手長さの25%とする。 (5) 類似の機能を有する複数の容器の試験は、一つの容器について実施するか、または複数の容器に振り分けて行ってもよい。 (6) 最初の検査間隔で選定した溶接継手は、原則として後の検査間隔においても定点サンプリング方式で試験を行わなければならない。</p> <p style="text-align: center;">試験の範囲および程度^⑤</p>	試験カテゴリ B-B 容器の耐圧部分の溶接継手						項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ^⑤	延期*	B2.111	原子炉圧力容器または原子炉容器 胴の周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	可	B2.112	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^②	可	B2.121	鏡板の周継手	図 IB-2500-5,6	体積	溶接継手 ^②	可	B2.122	鏡板の長手継手 (子午線方向を含む)	図 IB-2500-5	体積	溶接継手 ^②	可	B2.11	加圧器 胴と鏡板との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	両側の溶接継手 ^②	不可	B2.12	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^{①②}	不可	B2.13	胴と胴との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	不可	B2.40	蒸気発生器（一次側） 管板と鏡板との溶接継手	図 IB-2500-10	体積	溶接継手 ^{④⑤}	不可	<p>表 IB-2500-2 試験カテゴリと試験部位および試験方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">試験カテゴリ B-B 容器の耐圧部分の溶接継手</th> </tr> <tr> <th>項目番号</th> <th>試験部位</th> <th>図番</th> <th>試験方法</th> <th>試験の範囲および程度^⑥</th> <th>延期*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B2.111</td> <td>原子炉圧力容器または原子炉容器 胴の周継手</td> <td>図 IB-2500-2,3</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.112</td> <td>胴の長手継手</td> <td>図 IB-2500-4</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.121</td> <td>鏡板の周継手</td> <td>図 IB-2500-5,6</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.122</td> <td>鏡板の長手継手 (子午線方向を含む)</td> <td>図 IB-2500-5</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B2.11</td> <td>加圧器 胴と鏡板との周継手</td> <td>図 IB-2500-2,3</td> <td>体積</td> <td>両側の溶接継手^②</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B2.12</td> <td>胴の長手継手</td> <td>図 IB-2500-4</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^{①②}</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B2.13</td> <td>胴と胴との周継手</td> <td>図 IB-2500-2,3</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^②</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B2.40</td> <td>蒸気発生器（一次側） 管板と鏡板との溶接継手</td> <td>図 IB-2500-10</td> <td>体積</td> <td>溶接継手^{④⑤}</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：検査間隔内の延期</p> <p>注： (1) 試験に選ぶ溶接継手は、周継手と交差する胴の長手継手とする。 (2) 各検査間隔中の試験程度は、各溶接継手長さの7.5%とする。ただし、周継手について5%、長手継手について10%としてもよい。 なお、特定の溶接継手に対する試験程度の一部または全部を実施せず、その代替として他の溶接継手に対する試験程度に加えて試験を実施することが妥当と判断される場合は、各溶接継手長さに対する割合でなく全溶接継手長さに対する割合としてもよい。 ただし、代替とした理由および代替として実施する試験程度の妥当性として、材質、応力条件（溶接残留応力を含む）および環境条件（温度、炉水環境）が工学的に同等であることを確認し、記録しておかなければならない。（解説表 IB-2500-1,2,8） (3) 各検査間隔中の試験程度は、各溶接継手長さの7.5%とする。ただし、周継手について5%、長手継手について10%としてもよい。 (4) 各検査間隔中の試験程度は、一つの容器の溶接継手長さの25%とする。 (5) 類似の機能を有する複数の容器の試験は、一つの容器について実施するか、または複数の容器に振り分けて行ってもよい。 (6) 最初の検査間隔で選定した溶接継手は、原則として後の検査間隔においても定点サンプリング方式で試験を行わなければならない。</p> <p style="text-align: center;">試験の範囲および程度^⑥</p>	試験カテゴリ B-B 容器の耐圧部分の溶接継手						項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ^⑥	延期*	B2.111	原子炉圧力容器または原子炉容器 胴の周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	可	B2.112	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^②	可	B2.121	鏡板の周継手	図 IB-2500-5,6	体積	溶接継手 ^②	可	B2.122	鏡板の長手継手 (子午線方向を含む)	図 IB-2500-5	体積	溶接継手 ^②	可	B2.11	加圧器 胴と鏡板との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	両側の溶接継手 ^②	不可	B2.12	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^{①②}	不可	B2.13	胴と胴との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	不可	B2.40	蒸気発生器（一次側） 管板と鏡板との溶接継手	図 IB-2500-10	体積	溶接継手 ^{④⑤}	不可	2004年版以降
			試験カテゴリ B-B 容器の耐圧部分の溶接継手																																																																																																																										
項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ^⑤	延期*																																																																																																																								
B2.111	原子炉圧力容器または原子炉容器 胴の周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.112	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.121	鏡板の周継手	図 IB-2500-5,6	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.122	鏡板の長手継手 (子午線方向を含む)	図 IB-2500-5	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.11	加圧器 胴と鏡板との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	両側の溶接継手 ^②	不可																																																																																																																								
B2.12	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^{①②}	不可																																																																																																																								
B2.13	胴と胴との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	不可																																																																																																																								
B2.40	蒸気発生器（一次側） 管板と鏡板との溶接継手	図 IB-2500-10	体積	溶接継手 ^{④⑤}	不可																																																																																																																								
試験カテゴリ B-B 容器の耐圧部分の溶接継手																																																																																																																													
項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ^⑥	延期*																																																																																																																								
B2.111	原子炉圧力容器または原子炉容器 胴の周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.112	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.121	鏡板の周継手	図 IB-2500-5,6	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.122	鏡板の長手継手 (子午線方向を含む)	図 IB-2500-5	体積	溶接継手 ^②	可																																																																																																																								
B2.11	加圧器 胴と鏡板との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	両側の溶接継手 ^②	不可																																																																																																																								
B2.12	胴の長手継手	図 IB-2500-4	体積	溶接継手 ^{①②}	不可																																																																																																																								
B2.13	胴と胴との周継手	図 IB-2500-2,3	体積	溶接継手 ^②	不可																																																																																																																								
B2.40	蒸気発生器（一次側） 管板と鏡板との溶接継手	図 IB-2500-10	体積	溶接継手 ^{④⑤}	不可																																																																																																																								

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考																																																																												
4	IB-8	表 IB-2500-6	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">試験カテゴリ B-G-1 直径50 mm を超える圧力保持用ボルト締付け部</th> </tr> <tr> <th>項目番号</th> <th>試験部位⁽¹⁾</th> <th>図番</th> <th>試験方法</th> <th>試験の範囲 および程度⁽²⁾⁽³⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾</th> <th>延期*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B6.10</td> <td>原子炉容器 上蓋用ナット</td> <td>—</td> <td>VT-1</td> <td rowspan="5">全ての上蓋用ナット、 挿込みボルト、ワッシャ、 プッシング、フランジネジ穴 のネジ部</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B6.20</td> <td>上蓋用挿込みボルト (取付け状態)</td> <td>図 IB-2500-21</td> <td>体積</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B6.30</td> <td>上蓋用挿込みボルト (取外し状態)</td> <td>図 IB-2500-21</td> <td>体積</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B6.40</td> <td>フランジネジ穴のネジ部⁽⁴⁾</td> <td>図 IB-2500-21</td> <td>体積</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B6.50</td> <td>上蓋用ワッシャ、プッシング</td> <td>—</td> <td>VT-1</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>	試験カテゴリ B-G-1 直径50 mm を超える圧力保持用ボルト締付け部						項目番号	試験部位 ⁽¹⁾	図番	試験方法	試験の範囲 および程度 ⁽²⁾⁽³⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾	延期*	B6.10	原子炉容器 上蓋用ナット	—	VT-1	全ての上蓋用ナット、 挿込みボルト、ワッシャ、 プッシング、フランジネジ穴 のネジ部	不可	B6.20	上蓋用挿込みボルト (取付け状態)	図 IB-2500-21	体積	不可	B6.30	上蓋用挿込みボルト (取外し状態)	図 IB-2500-21	体積	可	B6.40	フランジネジ穴のネジ部 ⁽⁴⁾	図 IB-2500-21	体積	不可	B6.50	上蓋用ワッシャ、プッシング	—	VT-1	不可	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">試験カテゴリ B-G-1 直径50 mm を超える圧力保持用ボルト締付け部</th> </tr> <tr> <th>項目番号</th> <th>試験部位⁽¹⁾</th> <th>図番</th> <th>試験方法</th> <th>試験の範囲 および程度⁽²⁾⁽³⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾</th> <th>延期*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B6.10</td> <td>原子炉容器 上蓋用ナット</td> <td>—</td> <td>VT-1</td> <td rowspan="5">全ての上蓋用ナット、 挿込みボルト、ワッシャ、 プッシング、フランジネジ穴 のネジ部</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B6.20</td> <td>上蓋用挿込みボルト (取付け状態)</td> <td>図 IB-2500-21</td> <td>体積</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B6.30</td> <td>上蓋用挿込みボルト (取外し状態)</td> <td>図 IB-2500-21</td> <td>体積</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>B6.40</td> <td>フランジネジ穴のネジ部⁽⁴⁾</td> <td>図 IB-2500-21</td> <td>体積</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>B6.50</td> <td>上蓋用ワッシャ、プッシング</td> <td>—</td> <td>VT-1</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>	試験カテゴリ B-G-1 直径50 mm を超える圧力保持用ボルト締付け部						項目番号	試験部位 ⁽¹⁾	図番	試験方法	試験の範囲 および程度 ⁽²⁾⁽³⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾	延期*	B6.10	原子炉容器 上蓋用ナット	—	VT-1	全ての上蓋用ナット、 挿込みボルト、ワッシャ、 プッシング、フランジネジ穴 のネジ部	不可	B6.20	上蓋用挿込みボルト (取付け状態)	図 IB-2500-21	体積	不可	B6.30	上蓋用挿込みボルト (取外し状態)	図 IB-2500-21	体積	可	B6.40	フランジネジ穴のネジ部 ⁽⁴⁾	図 IB-2500-21	体積	不可	B6.50	上蓋用ワッシャ、プッシング	—	VT-1	不可	2002年改訂版以降
試験カテゴリ B-G-1 直径50 mm を超える圧力保持用ボルト締付け部																																																																																	
項目番号	試験部位 ⁽¹⁾	図番	試験方法	試験の範囲 および程度 ⁽²⁾⁽³⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾	延期*																																																																												
B6.10	原子炉容器 上蓋用ナット	—	VT-1	全ての上蓋用ナット、 挿込みボルト、ワッシャ、 プッシング、フランジネジ穴 のネジ部	不可																																																																												
B6.20	上蓋用挿込みボルト (取付け状態)	図 IB-2500-21	体積		不可																																																																												
B6.30	上蓋用挿込みボルト (取外し状態)	図 IB-2500-21	体積		可																																																																												
B6.40	フランジネジ穴のネジ部 ⁽⁴⁾	図 IB-2500-21	体積		不可																																																																												
B6.50	上蓋用ワッシャ、プッシング	—	VT-1		不可																																																																												
試験カテゴリ B-G-1 直径50 mm を超える圧力保持用ボルト締付け部																																																																																	
項目番号	試験部位 ⁽¹⁾	図番	試験方法	試験の範囲 および程度 ⁽²⁾⁽³⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾	延期*																																																																												
B6.10	原子炉容器 上蓋用ナット	—	VT-1	全ての上蓋用ナット、 挿込みボルト、ワッシャ、 プッシング、フランジネジ穴 のネジ部	不可																																																																												
B6.20	上蓋用挿込みボルト (取付け状態)	図 IB-2500-21	体積		不可																																																																												
B6.30	上蓋用挿込みボルト (取外し状態)	図 IB-2500-21	体積		可																																																																												
B6.40	フランジネジ穴のネジ部 ⁽⁴⁾	図 IB-2500-21	体積		不可																																																																												
B6.50	上蓋用ワッシャ、プッシング	—	VT-1		不可																																																																												
5	IE-3	表 IE-2500-2	注： (7) 注(4)に示す試験程度の…	注： (7) 注(5)に示す試験程度の…	2002年改訂版以降																																																																												
6	IG-1	IG-2520 (2)	<p>(2) 表 IG-2500-1 の構成は、次の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表番号</th> <th>試験カテゴリ</th> <th>試験部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表 IG-2500-1</td> <td>G-B-1</td> <td>沸騰水型原子炉压力容器内部の 構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>G-B-2</td> <td>沸騰水型原子炉压力容器の 炉心支持構造物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>G-P-1</td> <td>加圧水型原子炉容器内部の 構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>G-P-2</td> <td>加圧水型原子炉の 炉心支持構造物</td> </tr> </tbody> </table>	表番号	試験カテゴリ	試験部位	表 IG-2500-1	G-B-1	沸騰水型原子炉压力容器内部の 構造物・取付け物		G-B-2	沸騰水型原子炉压力容器の 炉心支持構造物		G-P-1	加圧水型原子炉容器内部の 構造物・取付け物		G-P-2	加圧水型原子炉の 炉心支持構造物	<p>(2) 表 IG-2500-1 の構成は、次の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表番号</th> <th>試験カテゴリ</th> <th>試験部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表 IG-2500-1</td> <td>G-B-1</td> <td>沸騰水型原子炉压力容器内部の 構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>G-B-2</td> <td>沸騰水型原子炉の 炉心支持構造物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>G-P-1</td> <td>加圧水型原子炉容器内部の 構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>G-P-2</td> <td>加圧水型原子炉の 炉心支持構造物</td> </tr> </tbody> </table>	表番号	試験カテゴリ	試験部位	表 IG-2500-1	G-B-1	沸騰水型原子炉压力容器内部の 構造物・取付け物		G-B-2	沸騰水型原子炉の 炉心支持構造物		G-P-1	加圧水型原子炉容器内部の 構造物・取付け物		G-P-2	加圧水型原子炉の 炉心支持構造物	2004年版以降																																														
表番号	試験カテゴリ	試験部位																																																																															
表 IG-2500-1	G-B-1	沸騰水型原子炉压力容器内部の 構造物・取付け物																																																																															
	G-B-2	沸騰水型原子炉压力容器の 炉心支持構造物																																																																															
	G-P-1	加圧水型原子炉容器内部の 構造物・取付け物																																																																															
	G-P-2	加圧水型原子炉の 炉心支持構造物																																																																															
表番号	試験カテゴリ	試験部位																																																																															
表 IG-2500-1	G-B-1	沸騰水型原子炉压力容器内部の 構造物・取付け物																																																																															
	G-B-2	沸騰水型原子炉の 炉心支持構造物																																																																															
	G-P-1	加圧水型原子炉容器内部の 構造物・取付け物																																																																															
	G-P-2	加圧水型原子炉の 炉心支持構造物																																																																															

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考																																																																																				
7	IG-2	表 IG-2500-1	<p>表 IG-2500-1 試験カテゴリと試験部位および試験方法</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="6">試験カテゴリ</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-B-1 沸騰水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-B-2 沸騰水型原子炉圧力容器の炉心支持構造物</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-P-1 加圧水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-P-2 加圧水型原子炉の炉心支持構造物</td> </tr> <tr> <th>項目番号</th> <th>試験部位</th> <th>図番</th> <th>試験方法</th> <th>試験の範囲および程度⁽⁴⁾</th> <th>延期*</th> </tr> <tr> <td>G1.10</td> <td>原子炉圧力容器および原子炉容器容器内部 (G-B-1, G-P-1)</td> <td>—</td> <td>VT-3</td> <td>容器内部⁽⁴⁾</td> <td>可</td> </tr> </table> <p>G-B-2 沸騰水型原子炉圧力容器の炉心支持構造物</p>	試験カテゴリ						G-B-1 沸騰水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物						G-B-2 沸騰水型原子炉圧力容器の炉心支持構造物						G-P-1 加圧水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物						G-P-2 加圧水型原子炉の炉心支持構造物						項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ⁽⁴⁾	延期*	G1.10	原子炉圧力容器および原子炉容器容器内部 (G-B-1, G-P-1)	—	VT-3	容器内部 ⁽⁴⁾	可	<p>表 IG-2500-1 試験カテゴリと試験部位および試験方法</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="6">試験カテゴリ</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-B-1 沸騰水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-B-2 沸騰水型原子炉の炉心支持構造物</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-P-1 加圧水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物</td> </tr> <tr> <td colspan="6">G-P-2 加圧水型原子炉の炉心支持構造物</td> </tr> <tr> <th>項目番号</th> <th>試験部位</th> <th>図番</th> <th>試験方法</th> <th>試験の範囲および程度⁽⁴⁾</th> <th>延期*</th> </tr> <tr> <td>G1.10</td> <td>原子炉圧力容器および原子炉容器容器内部 (G-B-1, G-P-1)</td> <td>—</td> <td>VT-3</td> <td>容器内部⁽⁴⁾</td> <td>可</td> </tr> </table> <p>G-B-2 沸騰水型原子炉の炉心支持構造物</p>	試験カテゴリ						G-B-1 沸騰水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物						G-B-2 沸騰水型原子炉の炉心支持構造物						G-P-1 加圧水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物						G-P-2 加圧水型原子炉の炉心支持構造物						項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ⁽⁴⁾	延期*	G1.10	原子炉圧力容器および原子炉容器容器内部 (G-B-1, G-P-1)	—	VT-3	容器内部 ⁽⁴⁾	可	2004 年版以降
試験カテゴリ																																																																																									
G-B-1 沸騰水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物																																																																																									
G-B-2 沸騰水型原子炉圧力容器の炉心支持構造物																																																																																									
G-P-1 加圧水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物																																																																																									
G-P-2 加圧水型原子炉の炉心支持構造物																																																																																									
項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ⁽⁴⁾	延期*																																																																																				
G1.10	原子炉圧力容器および原子炉容器容器内部 (G-B-1, G-P-1)	—	VT-3	容器内部 ⁽⁴⁾	可																																																																																				
試験カテゴリ																																																																																									
G-B-1 沸騰水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物																																																																																									
G-B-2 沸騰水型原子炉の炉心支持構造物																																																																																									
G-P-1 加圧水型原子炉圧力容器内部の構造物・取付け物																																																																																									
G-P-2 加圧水型原子炉の炉心支持構造物																																																																																									
項目番号	試験部位	図番	試験方法	試験の範囲および程度 ⁽⁴⁾	延期*																																																																																				
G1.10	原子炉圧力容器および原子炉容器容器内部 (G-B-1, G-P-1)	—	VT-3	容器内部 ⁽⁴⁾	可																																																																																				
8	IJB-2	IJB-2530	目視試験 (MVT-1) で特異な状態を検出した場合には、その範囲および補修・取替の措置または評価の必要性等を把握するため、表面試験、体積試験または IA-2250 が規定する他の評価方法や技術を用いて補足試験を実施してもよい。	目視試験 (MVT-1) で特異な状態を検出した場合には、その範囲および補修・取替の措置または評価の必要性等を把握するため、表面試験、体積試験または IA-2350 が規定する他の評価方法や技術を用いて補足試験を実施してもよい。	2004 年版以降																																																																																				
9	添付 E-8-10	表 添付 E-8-4	<p>(pD/2t)/Sm の列 ≦ 1.80</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="11">無次元欠陥長さ $(\rho l / \sqrt{Rt})$</td> </tr> <tr> <td>$\frac{(pD/2t)}{S_m}$</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1</td> <td>1.5</td> <td>2</td> <td>2.5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>>5</td> </tr> <tr> <td>≦ 1.80</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> </tr> </table>		無次元欠陥長さ $(\rho l / \sqrt{Rt})$											$\frac{(pD/2t)}{S_m}$	0.2	0.4	0.6	0.8	1	1.5	2	2.5	3	4	5	>5	≦ 1.80	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	<p>(pD/2t)/Sm の列 ≧ 1.80</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="11">無次元欠陥長さ $(\rho l / \sqrt{Rt})$</td> </tr> <tr> <td>$\frac{(pD/2t)}{S_m}$</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1</td> <td>1.5</td> <td>2</td> <td>2.5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>>5</td> </tr> <tr> <td>≧ 1.80</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> <td>(*)</td> </tr> </table>		無次元欠陥長さ $(\rho l / \sqrt{Rt})$											$\frac{(pD/2t)}{S_m}$	0.2	0.4	0.6	0.8	1	1.5	2	2.5	3	4	5	>5	≧ 1.80	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	2000 年版以降								
	無次元欠陥長さ $(\rho l / \sqrt{Rt})$																																																																																								
$\frac{(pD/2t)}{S_m}$	0.2	0.4	0.6	0.8	1	1.5	2	2.5	3	4	5	>5																																																																													
≦ 1.80	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)																																																																													
	無次元欠陥長さ $(\rho l / \sqrt{Rt})$																																																																																								
$\frac{(pD/2t)}{S_m}$	0.2	0.4	0.6	0.8	1	1.5	2	2.5	3	4	5	>5																																																																													
≧ 1.80	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)																																																																													
10	添付 E-10-10	添付 E-10 4.3(2)b.	$F_1 = 0.97[M_1' + \underline{M}_1'(a'/t)^2 + M_3'(a'/t)^4]f_c$	$F_1 = 0.97[M_1' + \underline{M}_2'(a'/t)^2 + M_3'(a'/t)^4]f_c$	2004 年版以降																																																																																				

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考
11	添付 EJG-B-2-2	添付 EJG-B-2-1 3.(4)b.(a)	き裂進展速度は、材料および環境条件に応じ、添付 E-2 に示すき裂進展速度式の上限界を用いる。なお、中性子照射量が $5 \times 10^{24} \text{n/m}^2$ 以上の場合は、鋼種によらず添付 E-2(8)式に示す通常炉内水質環境下におけるオーステナイト系ステンレス鋼 (SUS304) のき裂進展速度式の上限界を用いる。	き裂進展速度は、材料および環境条件に応じ、添付 E-2 に示すき裂進展速度式の上限界を用いる。なお、中性子照射量が $5 \times 10^{24} \text{n/m}^2$ 以上の場合は、鋼種によらず添付 E-2(9)式に示す通常炉内水質環境下におけるオーステナイト系ステンレス鋼 (SUS304) のき裂進展速度式の上限界を用いる。	2008 年版以降
12	解説 2-1-11	(解説 IA-2524-1)	格納容器の 3 構造上の劣化 (腐食, 減肉, 塗膜の劣化, ボルト・ナットの破損等) を	格納容器の構造上の劣化 (腐食, 減肉, 塗膜の劣化, ボルト・ナットの破損等) を	2012 年版以降
13	解説 2-1-17	(解説 表 IB-2500-9-2)	表 IB-2500-9 試験カテゴリ B-J「管台とセーフエンド, 配管の耐圧部分の同種金属の溶接継手」項目番号 B9.11, B.12, B9.31 および B9.110 の試験方法	表 IB-2500-9 試験カテゴリ B-J「管台とセーフエンド, 配管の耐圧部分の同種金属の溶接継手」項目番号 B9.11, B9.12, B9.31 および B9.110 の試験方法	2009 年追補版以降
14	解説 2-1-18	(解説 表 IB-2500-10-1)	「設計・建設規格」, 「(解説 PVB-2110) クラス 1 機器に使用可能な材料」に記載の具体例に基づき, …	「設計・建設規格」, 「(解説 PVB-2110) クラス 1 容器に使用可能な材料」に記載の具体例に基づき, …	2010 年追補版以降
15	解説 2-1-20	(解説 表 IC-2500-3-1)	「設計・建設規格」, 「(解説 PVB-2110) クラス 1 機器に使用可能な材料」に	「設計・建設規格」, 「(解説 PVB-2110) クラス 1 容器に使用可能な材料」に	2010 年追補版以降

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考
16	解説 3-2-245	整理番号 EJG-B-2-1 2.の記載	中性子照射量が $5 \times 10^{24} \text{n/m}^2$ 以上の場合、中性子照射により SCC に対する感受性が表れると考えられることから、鋼種によらず添付 E-2(8)式 に示す通常炉水環境下におけるオーステナイト系ステンレス鋼 (SUS304) のき裂進展速度式の上限界を用いる。	中性子照射量が $5 \times 10^{24} \text{n/m}^2$ 以上の場合、中性子照射により SCC に対する感受性が表れると考えられることから、鋼種によらず添付 E-2(9)式 に示す通常炉水環境下におけるオーステナイト系ステンレス鋼 (SUS304) のき裂進展速度式の上限界を用いる。	2008 年版以降